

創刊の辞

国際協力研究科長 千葉 洋

本研究科は、総合政策学部（社会科学部）、外国語学部、保健学部および医学部という四学部を母体とした、学際的な研究を行うことを目的とする、文字どおり許容範囲の広い、医学部、保健学部を擁するわが杏林大学がゆえに開設し得た研究科である。

博士前期課程には、国際秩序論、アジア論、国際開発論をコアとする国際開発専攻と、言語文化研究、日本研究、文化交流研究をコアとする国際文化交流専攻という比較的両専攻間の垣根の低い二つの専攻を設けている。

博士前期課程は、1993年に発足し、これまでに136の方が修士（開発学）の学位を、また185の方が修士（学術）の学位を取得している。さらに1995年には博士後期課程を開設し、7の方が博士（学術）の学位を取得している。

これまで学位取得者および院生の論文を活字にして、是非とも世に問いたい、という院生をはじめとするわれわれの願いは設立当初からあったが、ここに来て漸くその希望がかない、創刊号をここに発刊することができた。

今後とも大学院紀要としての存在意義が世に認められるべく、一層の発展に向けて邁進する所存である。

温かいご支援賜りたくお願い申し上げる次第である。

2003年3月